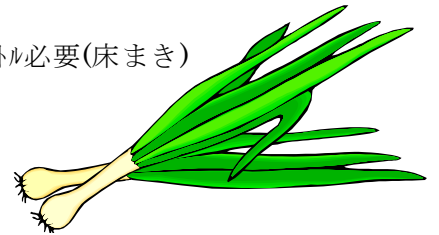


## 野菜の作業

農作物が不足する冬期から来春に向けた作付け計画を立てましょう！

種まき	定植（植付け）	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・コマツナ</li> <li>・ネギ</li> <li>・ダイコン</li> <li>・ラディッシュ</li> <li>・キャベツ</li> <li>・野沢菜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チンゲンサイ</li> <li>・ハクサイ</li> <li>・ニンニク</li> <li>・セリ など</li> </ul>	<p><b>【ネギ種まきの注意点】</b></p> <p>9月に種をまき、5月の定植へ向けた苗を作ります。 9月まきは育てやすい反面、葱坊主がつきやすいので極端な早まきは避けましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネギは酸性土壌を嫌うので一坪当たり 500 g 程度の石灰を散布し、基肥として化成肥料を 400 g 程度散布して土と馴染ませておきましょう</li> <li>・種の量は1坪当たり約3リットル必要(床まき)</li> </ul> <p><b>【病害虫防除】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が降ると「さび病」や「べと病」の発生が増えます</li> </ul> <p>「さび病」バイレトン水和剤5を400倍で散布する 「べと病」ダコニール1000を1,000倍で散布する</p>
	<p style="text-align: center;"><b>収 穫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・ネギ</li> <li>・ブロッコリー</li> <li>・ピーマン</li> <li>・キュウリ</li> <li>・トマト</li> <li>・カボチャ</li> <li>・レタス</li> <li>など他多数！</li> </ul>	



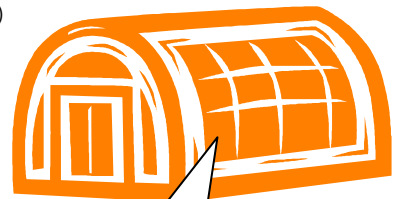
### 【パイプハウスを活用した冬期の葉野菜栽培に向けて】

#### ①ホウレンソウの秋蒔き栽培

- ・栽培時期にあわせた品種選択が重要で、オーライ（サカタ種苗）が、秋～冬期のは種に向く。
- ・種まきの10日～2週間前には石灰散布(20kg/a)を行い土壌PHを調整する。(目標pH6.5)
- ・堆肥は完熟堆肥を用いて200kg/a施用する。元肥は野菜用肥量BBN-552を20kg/a全面施用する。
- ・栽培密度：畝幅60～90cm・畝高10cm・通路40cmの床を作り条間は15cmとする。(は種量6デリットル/a)
- ・間引き：本葉が出始めた頃から順次間引きを行い、本葉4枚頃までに株間3～4cmとする。
- ・追肥：生育状況を見ながら灌水を兼ねて液体肥料を用いて窒素成分1～2kg施用する。
- ・収穫：草丈20cmを超えたら収穫期（草丈24～25cm程度が収穫適期）

#### ②コマツナの秋～冬蒔き栽培

- ・おすすめ品種：みすぎ（サカタ種苗）
- ・土づくりは栽培密度はホウレンソウを参考に。⇒（目標pHは6.0前後）
- ・間引き：貝割れ葉が開ききった頃から順次間引きを行う。
- ・冬期間は生育期間が長くなるので間引きを行った後に、追肥化成で追肥を行う。
- ・防寒：厳寒期はパオパオ90やパースラブ等を「べたがけ」とすると良い。
- ・収穫：本葉4～5枚。草丈20～25cmで収穫する。



パイプハウスを  
活用しましょう！



# 農業豆知識

## 質問コーナー

脱皮阻害剤という農薬があると聞きました。  
その薬剤の特徴と使用上での注意点について教えてください。

### 「脱皮阻害剤とは？」

昆虫は「卵」⇒「幼虫」⇒「蛹」⇒「成虫」と成長していきますが、その過程に「脱皮」があります。脱皮阻害剤は幼虫から蛹になる際の「脱皮」をさせず幼虫を殺したり、卵が孵化するのを幼虫が生まれなくする農薬です。従って長い残効が期待できます。

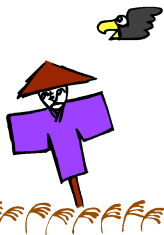
### 「使用上の注意点は？」

幼虫に対する脱皮阻害効果が主体ですので、幼虫の発生を見たら早めに防除を行うことが基本です。成虫には効果がありませんので、すぐには害虫が減らないので効果が無いと判断してしまう人がいますが、卵・幼虫が死滅する散布一週間後程度から大きな効果が現れます。

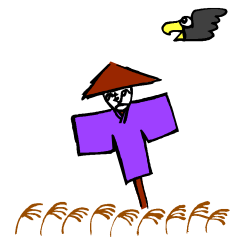
### 「脱皮阻害剤にはどんな農薬がありますか？」（散布に際しては使用上の注意を厳守して下さい）

商品名	対象作物名	適用害虫名	使用時期	希釈倍数	総使用回数	使用方法
アプロト水和剤	トマト	オンジツコジラミ幼虫	収穫前日まで	1000~2000	3回	散布
アタプロン乳剤	だいこん	アオムシ、コガ、キジノミハシ	収穫14日前まで	2,000	3回	散布
ノモルト乳剤	ハウレンソウ	ヨウムシ	収穫7日前まで	2,000	2回	散布

その他の対象作物・適用害虫名については薬剤（袋・瓶）裏の登録情報を参照下さい。



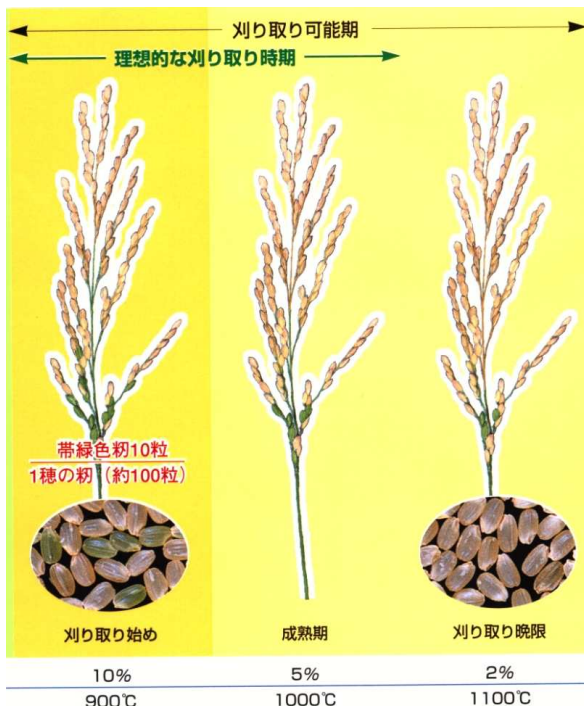
## 水稲収穫適期情報！



水稲は出穂期以降の平均気温を足し上げる「積算気温」により収穫開始日の予想が可能です

品種名	登熟に要する積算気温	標高	出穂期	収穫開始予想日	備考
あきたこまち	1,000℃	700m	8月7日	9月20日～	8月29日までは実測値、以降は平年並みの気温経過として予想しています
コシヒカリ	1,020℃	500m	8月10日	9月21日～	

刈り遅れは「胴割れ米」の発生を助長します。計画的な収穫ができるよう準備をしましょう！



### 【帯緑色籾歩合による収穫期の判定】

「帯緑色籾歩合」とは緑色の籾が1穂内に占める割合のことです。

- ・1穂内の緑の籾が「10粒」になったら収穫開始の目安です！
  - ・緑色の籾は「生き青」と呼ばれ適期収穫をした証です！（収穫遅れになる程緑色の籾が減るため）
- 上記の「積算気温による収穫予測」と「帯緑色籾歩合」を参考に適期収穫を行きましょう！

「積算気温による収穫予測」は以下の上小農業改良普及センターホームページも参考にしてください。

<http://www.pref.nagano.jp/xnousei/joukai/josho.htm>

### 【以上、技術事項についての作成協力】

上小農業改良普及センター  
担当：白石主査 電話 25-7157

